

2021年3月25日

各 位

太陽生命保険株式会社
代表取締役社長 副島 直樹
東京都中央区日本橋2丁目7番1号



太陽生命、「三井住友信託銀行」が発行する 「グリーンボンド」への投資を実施

T&D保険グループの太陽生命保険株式会社（社長 副島直樹）は、ESG投資の一環として、三井住友信託銀行株式会社が発行する「グリーンボンド」（以下「本債券」）への投資を決定いたしましたのでお知らせいたします。

本債券の調達資金は、一定の要件を満たすグリーンプロジェクト（太陽光・風力発電をはじめとする再生可能エネルギー、環境不動産など環境改善に資する事業）に対するファイナンスに充当されます。

<概要>

発行体：三井住友信託銀行株式会社

名称：グリーンボンド（S&P格付：A、Moody's格付け：A1）

※ 国際資本市場協会（ICMA）公表の「グリーンボンド原則」および環境省「グリーンボンドガイドライン」に準拠したグリーンボンド

発行総額：5億米ドル（約545億円相当）※

※1ドル=109.10円で換算

償還期間：5年

当社は、2007年3月に日本の生命保険会社として初めて「責任投資原則（PRI）」^(※)に署名し、環境（E）、社会（S）、企業統治（G）の課題に十分配慮し、持続可能な社会の実現に向けた資産運用を行っています。

太陽生命は、これからも責任ある機関投資家として、持続可能な社会の形成に貢献できるよう取組みを推進してまいります。

以上

^(※) 責任投資原則(PRI=Principles for Responsible Investment)とは、2005年に当時の国連事務総長であったコフィー・アナン氏が金融業界に対して提唱した原則です。投資の意思決定プロセスや株式所有方針の決定に際して、環境・社会・企業統治(ESG)の課題を考慮し、受益者のために、より優れた長期的な投資効果と持続的な金融市場を実現していくための行動規範です。